



地域学校協働活動 & コミュニティ・スクール だより

今回は、子ども達の居場所づくりをしている津田小学校放課後子ども教室、四季が丘小学校の熟議のまとめ方、1年を見通せる年間指導計画についてお知らせいたします。

津田小学校放課後子ども教室

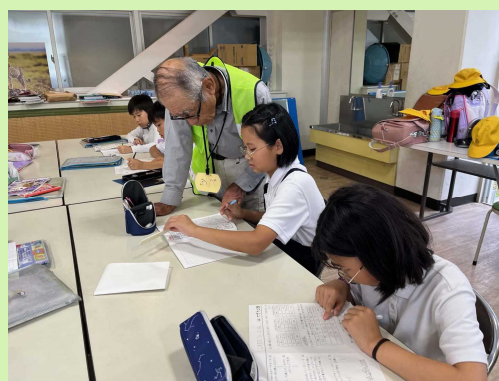
津田小学校では、コロナによる規制が緩和され、活動が再開される中、11月から放課後子ども教室が本格的に再開されました。

宿題タイム

授業が終わって放課後子ども教室に来た子どもから、まずは宿題をします。次の活動を楽しみに集中して宿題に取り組みます。分からないところは、スタッフが丁寧に教えてくれます。



一生懸命宿題に取り組む子ども達



分からないところはスタッフが指導

オリエンテーリング

1月25日（木）に、グループに分かれ、校内の地図を見て、ポイントを探し、ミッションをクリアするオリエンテーリング大会を行いました。グループごとに協力して、10のミッションを達成しました。

10のミッションにチャレンジしよう！

【校舎(こうしゃ)とグラウンド】

① オリエンテーリングもどき

【ふるさとルーム】

② ジグソーパズル

③ 数字版(すうじばん) 100

④ じゃんけん

【ふれあいルーム】

⑤ マナー鍋(なべ)

⑥ 輪投げ(わなげ)

⑦ ボードボールゲーム

⑧ ストライクナイン

⑨ 4字熟語(4じじゅくご)

⑩ まちがい探し(さがし)



パズルゲーム



数字版

子ども達は、様々なミッションに一生懸命チャレンジし、たくさんの知識や技能等を習得しています。

10のミッション

自己選択活動の時間

自分たちが活動したいことを選択して過ごす時間があります。多様な子ども達のニーズに応えるため、地域の方が工夫しています。



スタッフも入ってドッジボール



毛糸で編み物



400mリレーの作戦会議



白熱するじゃんけん大会

放課後子ども教室では、子ども達がやりたいことを提案します。子ども自身がその日の活動を選択して、ドッジボールをしたり、毛糸の編み物をしたり、ゲームやパズルをしたりして楽しんでいます。中には、リレーの活動や得意な絵を描いて楽しんでいる子もいます。

個人で楽しむ時間が終わったら、最後にチームに分かれて、じゃんけん大会です。どの子も真剣に勝負し、チームに貢献しています。

津田小学校放課後子ども教室は、集団で過ごす時間と個人で過ごす時間を工夫して、子ども達の多様な力を高める取組を進めています。



コラム1

ふるさとへの思いを(宮園小学校地域学校協働本部)

3月10日(日)宮園小学校に、熱気球がやってきました。子ども達を含め、162名の方が搭乗しました。1月の宮園小学校の活動調整会議で、コロナ禍で思い出づくりがあまりできなかった6年生に、卒業前に思い出を作ってもらおうと有志の皆様の思いで実現しました。この気球は、宮園に住んでいた斎藤聡一さん(現在:岐阜県高山市のおっぱら自然体験センター長)の「ふるさとで気球を上げたい」という思いから、始まりました。コミュニティ会長の鶴谷さんは、「子ども達の思い出づくりができて嬉しい、宮園小学校の子ども達が、ふるさとを出ても、ふるさとを気にかける人に成長してほしい」と語っていました。

学校運営協議会の取組

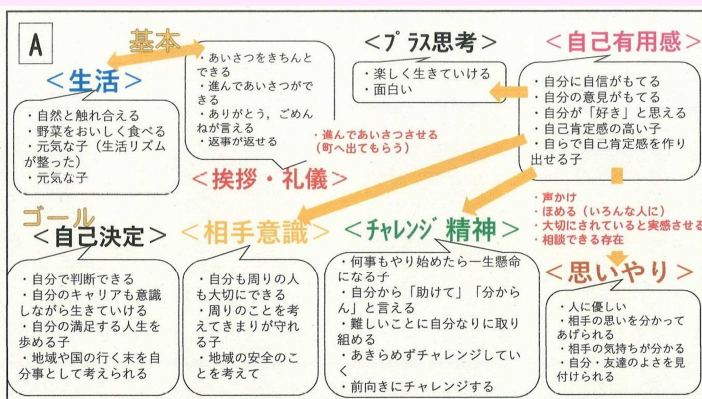
多くの学校で、学校運営協議会での熟議の成果を次年度の学校経営や教育課程に反映させています。熟議のまとめ方や地域との関わりを可視化した年間指導計画を作成した事例を紹介します。

四季が丘小学校 熟議のまとめ方

四季が丘小学校では、8月3日に学校運営協議会委員と協働本部関係者、PTA、全教職員で熟議を行いました。活発な議論がなされ、「育てたい子ども像」を模造紙にまとめました。



①熟議でまとめた模造紙



②模造紙の意見を分かりやすく整理

③全グループの意見のまとめ

令和5年 8月 四季が丘小学校 熟議のまとめ

【四季が丘小学校 育てたい児童像】（熟議からの意見のまとめ）

- 自ら考え、行動することができる
- 思いや考えを伝えられる
- 挨拶ができる
- 人の気持ちが分かる
- 自分を大切にすることができる
- きまりを守ることができる

④来年度に生かす目指す子ども像

	児童自身に関すること	豊かな心			健やかな体	社会との関わり	
		挨拶	自己有用感	思いやり		郷土愛	社会性
A	・難しいことに自分なりに取り組む ・あきらめずにチャレンジする ・前向きにチャレンジ ・「助けて」「分からない」と言える ・自分で判断できる ・自分のキャリアも意識できる	・進んでできる ・ありがとう、ごめんなさいが言える ・返事ができる	・自信がもてる ・意見がもてる ・自分が「好き」 ・自分のよさが分かる	・相手の思いを分かる ・相手の気持ちが分かる ・友達のよさが分かる	・元気な子 ・野菜をおいしく食べる ・生活リズムが整っている	・地域や国の行く末を自分事として考えられる	・周りのことを考えて決まりが守れる ・地域の安全のことを考えることができる
B	・挑戦し続ける ・主体的に学ぶ ・自ら学ぶ ・自分で考えて行動できる ・行動から行動する子 ・見通しをもつことができる ・自分の思いを伝えられる	・元気にあいさつができる ・誰に対してもできる ・いけないことをした時きちんと謝れる	・自分を大切にできる	・相手の気持ちを考えることができる ・自分も人も大切にできる ・他人を思いやり気配りができる ・人に対して思いやりのある ・他人を驚かせるようなサプライズなど楽しいアイディアがたくさんある	・地域や母校を大切に ・人とのつながりを大切に	・他人に迷惑をかけない ・社会のルールを守る ・ルールを守って生活できる	

⑤四季が丘小学校で分類した力の項目

熟議で活発な意見が交わされ、どのグループでも工夫し思いのこもったまとめ（①）が完成しました。四季が丘小学校では、この宝物の模造紙の意見を一人一人の意見がよく見えるように（②）のように整理しました。そして、全グループの意見を項目ごとに整理し、表（③）にして可視化しました。そして、熟議に参加した人たちが思い描いている「育てたい児童像」（④）が、完成しました。これらの子ども達につけたい力は、既存の教育目標の中に入っていますが、地域の方の思いも確認でき、これからも大切にしていかなければならない能力だと再認識できました。来年度の教育計画を立てる際に、これらの能力をつけていくことを重点において、教育課程を工夫していくそうです。

1 年間で可視化した年間指導計画

地域との関わりを年間指導計画に反映した学校を紹介します。



▲野坂中学校

宮島マナビの地図



▲宮島学園



▲廿日市中学校

年間の指導計画や行事計画を教育目標や生徒会スローガンなどと共にわかりやすくまとめられています。宮島学園では、地域の史跡や名勝などを「宮島マナビの地図」としてまとめています。地域の資源や宝、地域との関わりを1年を見通して活用したり、学校の職員が代わっても、子ども達の学びが改善されながら継承されたりしていく一つの手立てとして有効です。



年間指導計画は市ホームページから→

コラム2

生涯学習推進フォーラムより

3月9日(土)に生涯学習推進フォーラムを開催しました。ゲスト講演に小田圭介さん(静岡県立裾野高校地域連携コーディネーター他)をお迎えし、「社会教育による地域づくりの土台づくり」という演題で熱く語って頂きました。社会教育とは、「人と人とが良好な関係でつながった状態を作り出すこと」をモットーに、花を咲かせるのではなく土壌を作るのだという思いで活動を進められています。現在の社会は、コミュニティの多様化が進み、居住地域でのコミュニケーションが希薄化している時代になっている。このような中で、「やりたい」を実現させるための仕組みとして、「言い出しっぺ実行委員長方式」を考案し、活動を進めています。ルールは、○「やりたい人」がやる、○「やりたい人」が全部やる、○「やりたくない人」は邪魔しない。子ども達の地域との接点、世代や学校を超えたつながりを生み出すべく、おやじの会で月1回のお泊り会「何にもしない合宿」を実施しています。廿日市市内でも「何にもしない合宿」を行おうとする動きが出ています。



小田圭介さん

廿日市市教育委員会生涯学習課

〒738-8501 廿日市市下平良一丁目11番1号

TEL(0829)30-9203 FAX(0829)32-5163



市ホームページ